

以上三段に分ち以衡シタルガ容易ニ纏ラズ以衡中休憩スルヲ
二因ニ及ビ以社例ニテ最後の譲歩案ヲ提出シ争議因例モ
大正三年大争議ノ解決条件ガ脳裡ニ残セ居テ今少シノ
譲歩ハ出来得ルモノト思フト前提シ種々以衡ラ座ホ斯クシテ
才日ハ冷リ以來四日間庫~~庫~~交渉ヲ続ケ名結果 二十九日
別記員書ヲ交換同滿解決セリ

覺 書 (争議ノ三指針)

- 一 懲戒解雇ヲ取消依理解雇トス
- 二 解雇者中二十五名内外ヲ限ル去年十月五日迄ニ復職セシム
- 三 解雇者ニ付シテハ往業員規則才四上条規定ノ退職手当ヲ与給ス
- 四 同情金トシテ金一萬二千圓ヲ前迄手当ノ外ニ争議因例員者ニ支給ス

五 曠職者ノ事項ニ付シテハ考慮ス

但シ特強工場及當時常備者ハ特ニ考慮ス

附記 交渉委員(争議因例) 高山久茂、高橋慶治、物根

金助、辻利平外八名